



はまなすの実



— 第 19 号 —
平成 23 年 1 月 31 日
北海道文教大学同窓会
「つるの会」

恵庭市黄金中央 5 丁目 196 番 1
北海道文教大学内
TEL(0123)34-2515
発行責任者 北崎迪子

北海道文教大学短期大学部 幼児保育学科 学校祭「文華祭」
子供向けミュージカル「なかよしザウルス 5 人組」



撮影 幼児保育学科 平岡 英樹先生

はまなすの実 19 号 ～ 記 事 一 覧 ～

- 表紙 幼児保育学科ミュージカル
- 2.3P 教育研究助成事業
- 4P こども発達学科 学科長ヘインタビュー
- 5P 大学祭給食イベント
- 6.7P 道北支部 講演会・懇親会
- 8P OB 訪問, よりみち
- 9P 収支報告, 平成 22 年度事業経過報告
- 10P 掲示板, 編集後記

「つるの会」からのお知らせ ～同窓会室のご案内～

同窓会室は北海道文教大学 1 号館 2 階にあります。
す。月・火・金に開放されております。
お気軽に、お越しください。
月 10:00 ～ 14:00
火 10:00 ～ 14:00
金 10:00 ～ 14:00
(水・木・土日祝日はお休みを頂いております)

教育研究助成事業

幼児保育学科 子供向けミュージカル「なかよしザウルス 5 人組」
平成 22 年 10 月 30 日 恵庭市島松「夢創館」

平成 22 年度は幼児保育学科のこども向けミュージカルに教育研究助成を行いました。その様子を、担当教員の古郡先生、実行委員長の島崎さんからいただいた文章と写真にてご報告させていただきます。なおこの学年が短期大学部幼児保育学科最後の卒業生となります。



子ども向けミュージカル

「なかよしザウルス 5 人組」公演までの道のり

今年の学校祭、2 年生 38 名で行うという難しい現状を抱えていました。そこで、学生たちに子ども向けミュージカルの提案をしました。しかし、これまでのミュージカルのように 1・2 年生合同の規模で行えないと予想されました。1 人何役もこなさなければならないことや、臨機応変に役割を変更するなどのことが予想されたからです。

何より学生たちの頑張りがが必要です。場所の問題もありました。そこで、本学の英語ミュージカルを担当している久野先生のご助言をいただき、恵庭小劇場の任泰峰氏・奈良井朝晴氏をご紹介いただきました。冬の寒い時期にはこどもたちに来てもらえないのではないか、学生たちは準備期間を十分にとれるのかなど、課題は多くありました。それでも、学内外の方々からのご助言をいただきながら実施へと向かっていきました。

場所を恵庭市島松駅前「夢創館」にしたのは、学生の子どもたちへの想いを「こども発達学科へ伝えたい」との考えが基本となっています。2 年生は、施設実習・保育所実習・幼稚園実習と学外での実習が続きます。それらを終えたのが 9 月中旬でした。10 月 30 日の公演を目指して毎日放課後に準備が続きました。

広報はポスター作り、恵庭市内の幼稚園・保育所・こども園へのチラシ配布を行い、キャスト・ダンスの学生たちは、先輩たちのミュージカルの映像を見て、自分たちで工夫しながら取り組みました。音響・照明は脚本が変わるたびに変更を余儀なくされていきます。何より、芝居自体の重要なキーマンとしてのプレッシャーは予想外の様子でした。

大小道具・衣装担当は工夫の連続でした。最終リハーサル直前まで工具やミシンを持参しました。受付担当は、プロンプター（原稿指示）を兼ねながらこどもたちへのお土産作りをコツコツと準備していました。実行委員長と演出・舞台監督、学生会長は連携をとり何度も「夢創館」へ行き、会場の大さや舞台づくりのレイアウトを考えました。また、各部門の調整役も大切な役割でした。

学生たちは、「楽しくやろう」を掲げて公演へと進んで行ったのでした。

学生会担当教員 古郡 曜子



子ども向けミュージカル「なかよしザウルス5人組」公演を終えて

私たち学生会のメンバーは学校祭「文華祭」について話し合いを重ね、子ども向けミュージカルを行うことにしました。昨年とはすべてが違い、自分たちで試行錯誤をしながら作品を作り、観に来てくださる方に何を伝えたいのかをいつも考えながら練習をしました。

私が特に大変だと思ったのは大きな湖を作った大・小道具担当です。また、キャストとダンスの意見をたくさん取り入れてくれ、ダンスの皆と一緒に衣装も作ってくれました。キャストのように目立つわけではありませんが、ミュージカルを作り上げていくためになくてはならない存在でした。

私は練習の進み具合に合わせて計画を立て直さなければいけません。しかし、ミュージカルのこととは全くわからない状態からのスタートのため戸惑う場面が多くありました。実際に進んでいくと全員で支えあうことで練習を進めることができました。仲間たちに感謝しています。

芝居は遊びだ。遊びは子どもを育てる上で大切

恵庭市民ミュージカルを担当している任さん・奈良井さんに、遊びは子どもを育てる上で大切という考えと、お芝居をする楽しさやダンスのテクニックやアドバイスなど、多くのことを教えていただきました。私たちは改善点を自分たちで見つけ、さらにお芝居を楽しむ気持ちに変わっていききました。練習中でもダンスでの笑顔が自然と出るようになり、芝居の迫力も増し、自分たちの自信にもつながることができました。

今回は、私たちの力だけでなくお二人の力添えがあって出来たことだと思います。さらに、夢創館の方々にはステージの作り方や客席のことなど、いろいろと教えていただきました。皆さんのご協力が私たちを支えてくれました。ミュージカルを終えると緊張が取れ、今まで頑張ってきたことや苦しかったことよりも、学生全員が一つなり「やりとげた」という達成感で胸がいっぱいになりました。学生全員が最後まで完成させられるかという不安いっぱいでの話し合いをしたり、投げ出したくなった時もありましたが、全員で支えあいミュージカルを成功させたことで、一つずついろんなことを学び、素敵な気持ちを味わうことができました。

短期大学部は私たちで最後になってしまいます。こども発達学科の皆さんに機会があればこの充実した気持ちを味わってほしいと思っています。私たちはこの経験を通して学んだこと、実際に体験したことを活かし、保育の道へ進んでいきます。ありがとうございました。

文華祭実行委員長 島崎 泉希



こども発達学科 ～学科長へインタビュー～



人間科学部 こども発達学科
佐藤 信雄 教授

平成 22 年度新たに 6 番目の学科としてこども発達学科（4 年制）が新設されましたがその経緯についてお聞かせください。

本学園では 1968（昭和 43）年から短期大学で幼稚園教諭・保育士の養成を行ってききましたが、幼稚園に勤務している卒業生の『特別なお世話を必要とする子どもがいるけれど専門の勉強をしていないのでどうしたらよいかわからない』という言葉から、子どもについて総合的に学べる 4 年制の学科を作ることになりました。子どもを取り巻く状況も大きく変わり、子育てやその援助に求められるニーズも変化し、それに対応できる保育者、教育者、子育て支援者が求められるようになってきたのです。

そのような社会の要請にこたえ、幼稚園教諭、保育士、小学校教諭、特別支援学校教諭の養成の枠を越えて、総合的に子どもの発達を学び、こども発達を支援する人材を育成する学科として人間科学部に本学科が発足しました。

では他学科との連携はどのようにお考えですか？

子どもの発達を研究する学科が『人間科学部』の中にあるということはかなり珍しいことなのではないかと思います。本学部には『健康栄養学科』『理学療法学科』『作業療法学科』『看護学科』があり、人間について科学的に学び、人間に直接的に働きかけ、人間の幸福を実践的に追究する先輩諸学科に囲まれながらこどもについて学べることが本学科の最大の特徴と言えるでしょう。共通の教養科目には人間を科学的に学べる科目が多く配置されており、専門科目の中にも本学科の学生に開放されている科目や関連諸学科の先生方と相談して本学科の学生のために新たに設置された科目があります。学生は学科の枠を越えて幅広く人間について学ぶことができるのです。

また、サークル活動や各種の行事や学習会、ボランティア活動等で関連諸学科の学生と交流するで、実りある学生生活を送り、豊かな人間性を育てることができるのです。

栄養学や医学方面からみた子どもの発達など他の学校にはない様々な研究が可能で、視野も広がりそうですね。今後の発展がますます期待できそうですね。

そうですね、本学科はまだ 1 年生だけの「ひよこ」のような学科ですが、大きな夢を持っています。その一つはこどもを今までの枠にとらわれず、総合的に学問する『こども学』を確立することです。こどもは人類の夢であり希望であり宝物です。子どもが健やかに育ち、豊かな人生を築くための基礎の部分で我々は何ができるのか、何をしなければいけないのか、そうしたことについてみんなで学び、研究したいと思っています。

二つ目は学び、研究したことを地域の皆さんとの連携のもとに、子どもたちのために役立てたいということです。本学科には併設機関として『子育て地域教育支援センター』があります。子育て支援活動の先進地域である恵庭市の皆さんとの連携・協力・協働により活発に展開してゆきながら、本学科を北海道における子育て支援活動の一大拠点に育て上げたい、という大きな夢を私たちは持っています。

最後にこども発達学科を卒業していく学生たちに期待することをお話いただけますか？

本学科では子どもたちの発達や子育てを支援する専門職を育成したいと考えています。多様化する保育・教育上のニーズに対応し、保育者・教育者、子育て支援者としての指導力、援助者としての的確な技術と理論をもって対応できる人材です。

本学科を卒業した後は幼稚園、小学校、特別支援学校の教員や保育所の保育士、地域社会に貢献する有能な人材として、子育て支援・学校支援に寄与できる市民として、また、児童福祉施設、子育て支援センター、子育てサポーターや不登校対応コーディネーター等のこどもに係わる専門職やこどもに関する教育・福祉関連産業・NPO・及び公務員や一般企業、こどもを取り巻く諸問題のライター、こどもに係わるビジネスのスタッフ等として、幅広い分野で活躍することが期待されています。

将来は大学院へ進み、研究者や大学教員への道を進む卒業生が出ることも考えられます。

卒業生が恵庭の秋を表現

平成 22 年 10 月 10 日（土）に 9 名の同窓生が大学祭において給食作りを行いました。恵庭の食材をふんだんに使用したランチセットはとても好評で、学生や地域の方々を含む 120 人以上の人が舌鼓をうちました。

今回、給食作りに参加してくれた同窓生の中川真希さんから当日の感想を頂きました。

大学生に 1 日戻れた、1 日体験大学生 !?

卒業して約 1 年半が過ぎた頃やっと大学に訪れることが出来た。その時、今回の大学祭給食の話貰う事となった。先生達へ近況報告をしながら、いろんな話をする事はとても楽しい！だけど 4 年間皆と精一杯、思いっきり過ごしたあの学校で、しかも給食室に再び入れたことは何よりも嬉しかった。なぜなら、就職して何度も大学生に戻りたいと思うことがあったからだ。あの頃は、同じグループで何度も打ち合わせを行い当日に望んだ給食実習。今回は久しぶり、しかも改装された給食実習室。打ち合わせは当日のみ！初めて会う先輩たちや久しぶりの同期メンバーとの調理。ドキドキ！でも何か職場とは違う楽しみがあった。

『おいしく楽しく気持ちよく作ろう！』

振り返ると現場では、相談出来る先輩が近くにいないことが何度もあった。日頃の業務に追われて自分のしたいことは何か、何だったのか、考えることが度々あった。しかし今回先輩達や同期メンバーと再び一緒に調理をした時、見えてくるものがあった。先輩の的確な指揮、作業効率…。当日私はラムハンバーグを担当し先輩達と計 4 人で 300 個のハンバーグ形成に挑んだ。しかし私はスピードが遅い、形はイマイチ、全然数が追いつかない。先輩達は、リズムよくチャッチャッと次から次へと、キレイなハンバーグがシートに並んでいく。おいしさとは何か、センスとは何か。先輩は形成しながら、当日の肉の状態や他食材との味の微調整。自分自身調理しながら、その日の食材状態を確認して提供したことはあったかな、と卒業後の 1 年半を振り返った。

今の自分のやらなくてはいけないことがたくさん見えてきた！！

自分の足りないもの、自分は何を目的として作っていたか、学生時代この瞬間どんな事を考えていたのか、給食を作る 1 つの目的から、自分自身の状態を振り返る良いきっかけとなった。自分の現場では、厨房に入ることはあっても包丁を握ることはほとんどない。ハンバーグに重要な玉葱のみじん切りをするにしても、早くキレイには上手くいかない。そこでは近くに聞ける先輩、観察できる先輩や仲間がいることは、とても楽しく刺激となった。卒業すると、文教メンバーと会う時間は減り、まして同じ場所で作業を行うことは全くなく寂しさを感じることもある。自分のやっていることは、これでいいのか、悪いのか。同窓会として活動するなかで、先輩から自分では気づけない部分へのアドバイスをいただき、その中で自分自身の新たな目標を作る機会、卒業後の不安、悩みを話せるきっかけ、先輩達の体験を踏まえてのアドバイスがあり、本当に文教というたくさんの先輩達がいる学校だからこそだと感じた。まだまだ自分で解決できない部分がたくさんあるため、是非先輩達の活躍する場を見て学べるきっかけとして同窓会を皆で大きくしていくことが出来たらと思う。私自身今回の思いを活かして現場に帰って日々の自分の活動に繋げ、また明日からも頑張っていこうと感じた。

恵庭の食材を使用した特別メニュー



「お品書」
五穀パン
パンプキンポタージュ
ラムハンバーグ
リコッタチーズのサラダ
プチトマトのコンポート



健康栄養 3 期 中川 真希

北海道文教大学 同窓会 つるの会 道北支部会 開催

in 旭川!!

宗谷、留萌、上川支部合同の道北支部会が旭川で開催されました。

平成 22 年 9 月 25 日（土）旭川ターミナルホテルにおいて、31 名の参加を得て道北支部会を開催いたしました。講演は高砂の間で行われ、「食を通じた人とのつながり ～教員から見た学生のいまむかし」と題し、旭川大学女子短期大学部生活学科食物栄養専攻 豊島琴恵教授（食物栄養学科 23 期）をお願いしました。

講演では豊島先生の教え子たちが、授業の中で野菜を育てるところから加工、販売までを体験することで多くの人と交流し、心身ともに成長する様子を伝えて下さいました。

講演後、このあと会場を層雲の間に移し懇親会が行われました。開会の挨拶に立った北崎迪子会長は、支部会に集まっていたいただいた方々のつながり、同窓会の発展が今後とも続けられるよう努力しましょうと述べられ、盛会裏に終わりました。

豊島琴恵先生の略歴

北海道栄養短期大学卒業後、同学助手として勤務。平成 12 年 4 月から旭川大学女子短期大学部食物栄養専攻 講師、准教授を経て平成 21 年 4 月より現職。平成 16 年 9 月北海道大学水産学部博士課程修了。管理栄養士、博士（水産科学）。



道北支部会参加者の皆さんは講演会では豊島先生のお話に変共感し、聞き入られていました。その後の懇親会も、楽しかったのは言うまでもありません。

道北支部会 参加者の声

道北支部会に出席して

これまで、中学や高校の同窓会には参加してきましたが、先輩や後輩を含めた大学ならではの同窓会は今回が初めてでした。豊島先生の講演では、「食を通じた人とのつながり～教員から見た学生の今と昔」というテーマで、大変興味深いお話を聞かせていただくことができました。その中で、学生は授業中賑やかであることや学生たちが農作業を通して食との関わりを深めていく姿が、学生の頃の私と重なるように感じました。

振り返ると、私が学生の頃も大変賑やかでした・・・(教えてくださった先生方すみません。From 3 期生) また、私も在学中は文教ファームといういわば「体験型農園」のサークルで汗を流していました。順調に成長していた作物も時には枯れ、また時には畑が草畑状態になることもありました。自然を相手にした産業の難しさを肌で感じる事ができ、それは今でも学生時代の良き思い出として残っています。また畑は、私の癒しの場でもあり、大学の帰りによく寄り道していたことを思い出します。講演後の懇談会では、学科や年齢の枠を越えて楽しいひと時を過ごすことができました。文教生というだけで、なぜか皆さんとの距離が近く感じられたような気がしました。次回もぜひ出席させていただきたいです。

健康栄養 3 期 的場 裕美

道北支部会に参加して

今回卒業して初めてつるの会に参加させていただきました。卒業してから 1 年半が経ち、同窓会をとてん遠く感じていましたが、今回のように同じ管内で行われる支部会は参加しやすかったです。大学に居た時には感じる事がなかった、栄養士としてのネットワークや、関わり大切さを実感することが出来た良い機会だったと思います。

様々な職場で同じ栄養士として頑張っている同期や、多くの現場で御活躍されている先輩方と話せた事で、今自分に出来る事を日々頑張っていこうと思う事が出来ました。今回はこのような機会を作っていただき、ありがとうございました。

健康栄養 3 期 青野 令奈

道北支部会に初参加

卒業して長い年月がたち、今回旭川での開催という事もあり初参加いたしました。幼児教育学科は私達のみで淋しい気もしたものの豊島先生の講演では農作業に少々取り組んでいた学生さん達が汗を流していくうちに農家の方も感心する程の変化を遂げ成長するのが伝わり、どんどん引き込まれ、見終えてジーンと来るものがあり、大事な事を教わりました。

懇親会では先輩方と藤の沢にあった校舎の話、名物(?)の急な坂道を息を切らしながら通学した事を懐かしく思い出して話に花が咲きました。同窓会と言っても知った人もいないのでは…と不参加を続けて来ましたが、今回先輩後輩の絆の強さや頑張っている方々のパワーを頂けたと実りのある時間を過ごすことが出来ました。短大の名前が変わって少し淋しい思いもしましたが、これからもつるの会は名前の通りに羽ばたいて広がっていただきたいと思っています。

幼児教育学科 9 期 河内 美子

当日参加できなかった方々からのメッセージ

* なかなか出席できず申し訳ないです。

退職後も再採用で通常勤務をしており、毎日なにかとバタバタしています。又の機会に出席したいと思います。

日高支部長 食 5 期 鈴木 敬子 (浦河町)

* 「つるの会」道北支部のご案内を頂きました。当日は出席できず残念です。次回を期待して今回は失礼致します。どうぞ皆様で盛大な会と願っております。

食 20 期 千葉 明美 (枝幸町)

* 残暑お見舞い申し上げます。庭のコスモスが風に揺れて、ことのほか救われる思いがしました。同窓会の準備をなされた皆様ご苦労様です。今年は旭川で行なわれるそうですね。地元なので考えてはありましたが、どうしても都合が出来ず、不参加となりました。残念でなりません。又、機会が有りましたら、今度は参加したいと思います。お身体に充分気をつけて下さいませ。

食 6 期 田中 久美 (旭川市)

* 昨年の後志支部会の盛り上がりをお届けに是非参加したかったのですが、事業と重なり参加できず非常に残念です。旭山動物園にも行きたかった。皆さんにもお会いしたかった、ぜひ大いに話し、大いに笑って盛会をお祈りしています。

後志支部長 食 2 期 小野 幸子 (倶知安町)

OB 訪問



この OB 訪問は大学、または短期大学を卒業し、各方面で活躍されている同窓会会員を紹介するコーナーです。

今回は保育士として働く森川菜央さんを訪ねて札幌市手稲区「さより第2保育園」へおじゃまし、お話を伺いました。

今私には、学生時代から支え続けてくれる先生や仲間がいます。入学当時は、短大生活の中で社会人になっても支え続けてくれる人達と出会う事が出来るとは、正直思ってもいませんでした。高校生活が終わり、夢を叶える為に短大に入学しましたが、入学当初は、新しい環境の中に身を置き、不安や緊張でいっぱいでした。短大生活が始まり、どこか高校での充実した日々を忘れられずに過ごしていました。この大学でも、そんな日々を過ごす事が出来ないかと考えていた時に、短大の中に学生会がある事を知り、入会する事に決めました。学生会としての活動は、大変な事も沢山ありましたが、それ以上に仲間と1つの大きな目標に向かって創りあげていく事の大切さなど多くの事を学ぶ事ができました。

短大生活2年間の中で、クラスの仲間や学生会の仲間、そして先生と、沢山の大切な人達に出会う事ができました。その時は、そこに自分が居る事や、周りに誰かが居てくれる事が当たり前だと思っていました。しかし、自分が社会人として働き始めて3年が過ぎようとしている今、色々な壁にぶつかりながらも、ここまで頑張り続けてくる事が出来たのは、私の周りに居てくれる人達の支えがあるからだと思います。一人では成し遂げられない事も、周りの力が加わり、成し遂げられるという事を、改めて実感しました。私は今、先生や仲間と居た帰る場所があるからこそ、安心して働き続ける事が出来ています。これからも、学生生活での経験を忘れずに、保育士として頑張っていきたいと思います。

幼児保育学科 39 期 森川 菜央

「よりみち」 vol.5



今回は北見市常呂町栄浦にあります「サロマ湖鶴雅リゾート」にお勤めの竹内和博さん（食物栄養学科 32 期）をお訪ねしました。このホテルは道東では森と湖と原生花園に囲まれた大自然の中のホテルです。眺望もすばらしく特に落日のドラマは圧巻です。魚介類の宝庫で新鮮な味覚も最高のホテルです。11 月に赴任してきたばかりなので今は町民のお話を良く聞くことを心がけているそうです。

現在は栄養士の仕事ではなく支配人代行（副支配人）として社長のモットーに従いオーナーとしての姿勢を持ち会社の財政も含めて運営に心配りをしています。

大学で学んだ事はリゾートでの衛生面や食品管理・保健所対応など下地として役に立っています。お客様にはリゾートの売りのひとつである絶景の夕日を楽しんでもらう事は勿論ですが、時間を忘れ、非日常を味わう、ゆったりした贅沢さを提供できるように心

掛けています。同窓生の皆様には特典として宿泊の際には食事時にドリンク 1 杯サービス、またお電話を頂ければ特別プランをご用意いたします。皆さんもきれいな夕日を眺めながらゆっくりと至福の時間を味わってみませんか。



OB 訪問、よりみち募集 !!

同窓生の皆さんの中で、職場や仕事の様子をはまなすの実で紹介したいという方がいらっしゃいましたら、事務局までご一報ください。

TEL (0123)34-2515 FAX (0123)25-5350

E-mail : tsurunokai@chic.ocn.ne.jp

平成 22 年度事業経過報告

1. 同窓会名簿の整理 ～ ホームページを充実させ名簿整理を行った
2. 卒業生への記念品 ～ ネームペン（390 本）
3. 同窓会総会及び入会式・卒業祝賀会 平成 23 年 3 月 12 日（土曜日） 於 札幌パークホテル予定
4. 会報の発行「はまなすの実」第 19 号発行
5. ホームページの更新
6. 支部の充実 ～ 道北支部開催（平成 22 年 9 月 25 日（土） 旭川ターミナルホテルにて）
7. 大学祭の出展へ助成 ～ 平成 22 年 10 月 10 日（土曜日）給食提供
8. 各学部への教育研究助成
9. その他

平成 22 年度 収支報告

平成20年度決算

自 平成20年3月 1 日
至 平成21年2月末日
収入の部 (単位 円)

科 目	予 算	決 算	備 考
前年度繰越金	5,035,229	5,035,229	
会費	6,995,000	6,785,000	<短大> 19年度 15名×15,000円=225,000円 20年度 84名×15,000円=1260,000円 <大学> 19年度 35名×20,000円= 700,000円 20年度 230名×20,000円=4,600,000円
利息収入	3,000	19,222	普通預金利息・定期預金解約利息
計	12,033,229	11,839,451	

科 目	予 算	決 算	備 考
同窓会総会	2,000,000	531,332	総会会場費・入会式及び卒業祝賀会費・名札代
卒業祝賀会・入会式			
卒業記念品費	1,290,975	1,306,095	既製（284本×2,800） 別製（138本×3,300）
印刷費	700,000	790,505	会報印刷・総会出欠用返信葉書印刷
通信費	1,000,000	998,162	電話代・切手代・会報送送料金
事務消耗品費	150,000	205,247	事務用品
会議費	500,000	183,902	役員会・委員会（会報及びHP）・支部長会議
交通費	500,000	622,420	役員会・委員会（会報及びHP）・支部長会議
アルバイト費	1,300,000	420,435	事務の整理
名簿整理費	300,000	57,191	HP制作費及びデータベース管理 新しい同窓会室にパソコンを完備するため必要
研修費	200,000	287,660	講演会・講習会・支部の研修会
教育研究助成金	800,000	200,000	各学部・学科への助成金
大学祭への助成金	100,000	54,000	大学祭への助成金
予備費	1,000,000	917,111	同窓会費返還の為の資金・お花代 新しい同窓会室に備品を完備する為
基本金積立金	1,500,000	0	定期預金
次年度繰越金	192,254	5,265,391	
計	11,533,229	11,839,451	

平成21年度予算（案）

自 平成21年3月 1 日
至 平成22年2月末日
収入の部 (単位 円)

科 目	予 算	備 考
前年度繰越金	5,265,391	
会費	7,690,000	<短大> 21年度58名×15, 000円=870,000円 <大学> 21年度341名×20, 000円=6,820,000円 外国語学部 115名・人間科学部 226名 (健康栄養学科138名・理学療法学科88名)
利 息 収 入	3,000	普通預金利息
計	12,958,391	

科 目	予 算	備 考
総会、卒業祝賀会及び入会式	800,000	総会々場費、卒業祝賀会及び入会式
卒業記念品費	1,200,000	卒業生への記念品（ネームペン）
印刷費	800,000	会報印刷・封筒、支部会葉書印刷等
通信費	1,000,000	電話代・切手代・会報送送料金
事務消耗品費	250,000	事務用品、コピー機リース料金他
会議費	300,000	役員会・委員会（会報及びHP）・支部長会
交通費	650,000	役員会・委員会（会報及びHP）・支部長会
アルバイト費	800,000	事務の整理
名簿整理費	2,500,000	ホームページ(130万円) 及びデータベース作成 (60万円)費用 年間管理費用(20,000円×12ヵ月) 新しい同窓会室にパソコンを完備する為
研修費	300,000	講演会・講習会・支部の研修会
教育研究助成金	1,000,000	各学部・幼児保育学科への助成金
大学祭への助成金	100,000	大学祭出展への助成金
予備費	300,000	同窓会費返還の為の資金 同窓会室にパソコンを完備する為
基本金積立金	0	定期預金
次年度繰越金	2,958,391	
計	12,958,391	

平成21年度決算

自 平成21年3月 1 日
至 平成22年2月末日
収入の部 (単位 円)

科 目	予 算	決 算	備 考
前年度繰越金	5,265,391	5,265,391	
会費	7,690,000	6,190,000	<短大> 20年度 9名×15,000円=135,000円 21年度 37名×15,000円=555,000円 <大学> 20年度 16名×20,000円= 320,000円 21年度 259名×20,000円=5,180,000円
助成金返金		25,080	英米語学科からの助成金残高返金
利息収入	3,000	1,039	普通預金利息・定期預金解約利息
計	12,033,229	11,481,510	

科 目	予 算	決 算	備 考
同窓会総会	800,000	638,850	総会会場費、入会式及び卒業祝賀会費、名札代
卒業祝賀会・入会式			
卒業記念品費	1,200,000	1,130,745	既製（284本） 別製（138本）
印刷費	800,000	657,700	会報印刷・総会出欠用返信葉書印刷
通信費	1,000,000	1,072,695	電話代、切手代、会報送送料金
事務消耗品費	250,000	254,451	事務用品
会議費	300,000	282,204	役員会、委員会（会報及びHP）・支部長会議
交通費	650,000	558,740	役員会、委員会（会報及びHP）・支部長会議
アルバイト費	800,000	556,265	事務の整理
名簿整理費	2,500,000	2,203,507	HP制作費及びデータベース管理 会報委員会用パソコン購入
研修費	300,000	250,675	講演会、講習会、支部の研修会
教育研究助成金	1,000,000	200,000	各学部・学科への助成金（幼児保育学科・日本語コミュニケーション学科）
大学祭への助成金	100,000	98,000	大学祭への助成金（幼児保育学科・大学への協賛金）
予備費	300,000	185,475	同窓会費返還（4名）、光ケーブル配管工事代 お祝いスタンド花（英米語ミュージカル・幼児保育学科保育フェスティバル）
基本金積立金	0	0	
次年度繰越金	2,958,391	3,392,203	
計	12,958,391	11,481,510	

平成22年度予算（案）

自 平成22年3月 1 日
至 平成23年2月末日
収入の部 (単位 円)

科 目	予 算	備 考
前年度繰越金	3,392,203	
会費	8,470,000	<短大> 22年度38名×15, 000円=570,000円 <大学> 22年度395名×20, 000円=7,900,000円 外国語学部 114名・人間科学部 281名
利 息 収 入	1,000	普通預金利息
計	11,863,203	

科 目	予 算	備 考
総会、卒業祝賀会及び入会式	800,000	総会々場費、卒業祝賀会及び入会式
卒業記念品費	1,500,000	卒業生への記念品（ネームペン）
印刷費	1,000,000	会報印刷・封筒、支部会葉書印刷等
通信費	1,000,000	電話代・切手代・会報送送料金
事務消耗品費	300,000	事務用品、コピー機リース料金他
会議費	300,000	役員会・委員会（会報及びHP）・支部長会
交通費	700,000	役員会・委員会（会報及びHP）・支部長会
アルバイト費	800,000	事務の整理
名簿整理費	252,000	年間管理費用（21,000円×1 2 ヲ月）
研修費	300,000	講演会・講習会・支部の研修会
教育研究助成金	1,000,000	各学部・幼児保育学科への助成金
大学祭への助成金	100,000	大学祭出展への助成金
予備費	560,000	同窓会費返還の為の資金 同窓会室にパソコンを完備する為
基本金積立金	1,000,000	定期預金
次年度繰越金	2,251,203	
計	11,863,203	

卒業祝賀会・同窓会入会式にお越しください

一緒に卒業生をお祝いしませんか？

平成 22 年度同窓会総会及び卒業祝賀会・同窓会入会式

場所 札幌パークホテル

札幌市中央区南 10 条西 3 丁目 tel 011-511-3131

日時 2011 年 3 月 12 日 (土)

総会 札幌パークホテル 4 階「清流」

16:30 ~

入会式及び卒業祝賀会 地下 2 階「パークホール」

18:00 ~

申込 会報同封のはがきまたは電話、

FAX または e-mail でお申し込みください

TEL (0123)34-2515 FAX (0123)25-5350

mail: tsurunokai@chic.ocn.ne.jp

締切 平成 23 年 2 月 25 日 (金) 必着



札幌駅から地下鉄南北線中島公園駅に移動



～アクセス方法～

地下鉄南北線、中島公園駅下車 3 番出口より徒歩すぐ。

◎同窓会費返還についてのお知らせ

会員の皆様の中には「短大と大学」「短大と別科」「短大と専攻科」と一度、短大又は大学を卒業された後に改めて、別科・専攻科・大学に入学され同窓会費を重複して納めていらっしゃる方がおられます。私達の同窓会は終身会費ですのでこれは不合理があることから返還させていただくということになりました。平成 25 年までにお申し出のあった方に返還して参りたいと思います。ご氏名・卒業年度・卒業学科を同窓会までお知らせくださいますようお願い申し上げます。

つるの会 会長 北崎 迪子

◎ご案内 「つるの会」 根釧支部会開催

平成 23 年度は 9 月に根釧支部、支部長の鉤井悦子さん (旧姓 小川) のお力を借りて釧路市にて実施することとなりました。8 月初旬に会員の皆様へご案内の葉書をお送りする予定であります。多くのご参加をお待ちしております。

編集後記

今回で 19 号目となりました会報「はまなすの実」を御覧の皆様こんにちは。今回の会報は幼児保育学科が毎年行っている子供向けミュージカルが表紙を飾っております。幼児保育学科は平成 22 年度に卒業する学生を最後として、4 年制のこども発達学科へ移行します。その学生、先生たちが一丸となって作り上げたミュージカルは、見ている人も演じている人も楽しめるとても素晴らしい作品でした。

現在、文教大学は 2 学部 6 学科となり、会報に求められるニーズは多種多様となっております。そのなかで私達会報委員は皆様がどんな情報を求め、どのようにすれば同窓会を盛り上げていくことが出来るか試行錯誤をしながらこの会報を作成しました。去年よりも今年、今年よりも来年。もっと良い会報となるよう今後も務めていきたいと思っております。そして、会報委員では同窓会員の皆様からも情報の提供をお待ちしております。「こんな記事を見たい」や「こんなイベントが開催されているよ」など、どんなことでも構いません。同窓会室の開放されている時に連絡をしていただければ幸いです。

健康栄養 2 期 池内 朋弥

北海道文教大学同窓会 事務局

〒061-1449
恵庭市黄金中央 5 丁目 196 番地 (大学内)

TEL (0123)34-2515

FAX (0123)25-5350

E-mail: tsurunokai@chic.ocn.ne.jp

www.tsurunokai.net

会報及びホームページ委員会

北崎 迪子	(食 3 期)	植本 浩司	(食 26 期)
工藤 鉄也	(食 37 期)	山本 由香子	(食 32 期)
熊野 彰俊	(中国 3 期)	須合 幸司	(健康栄養 1 期)
松山 容子	(健康栄養 2 期)	池内 朋弥	(健康栄養 2 期)